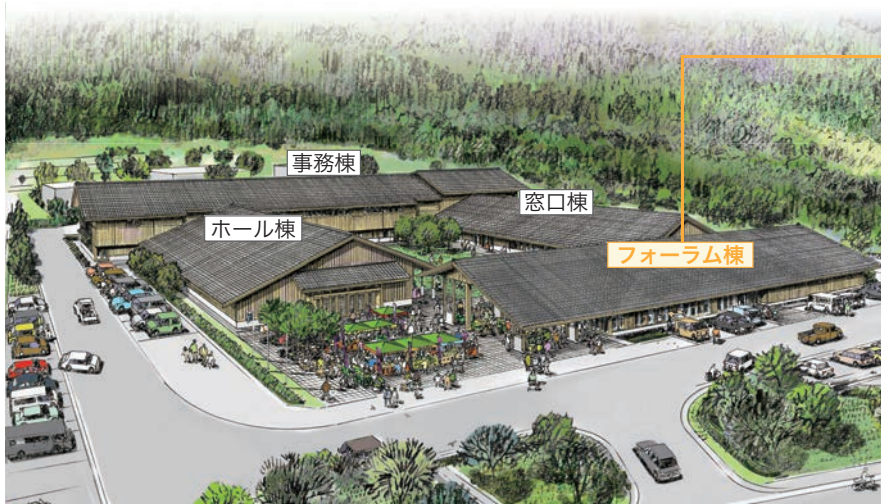


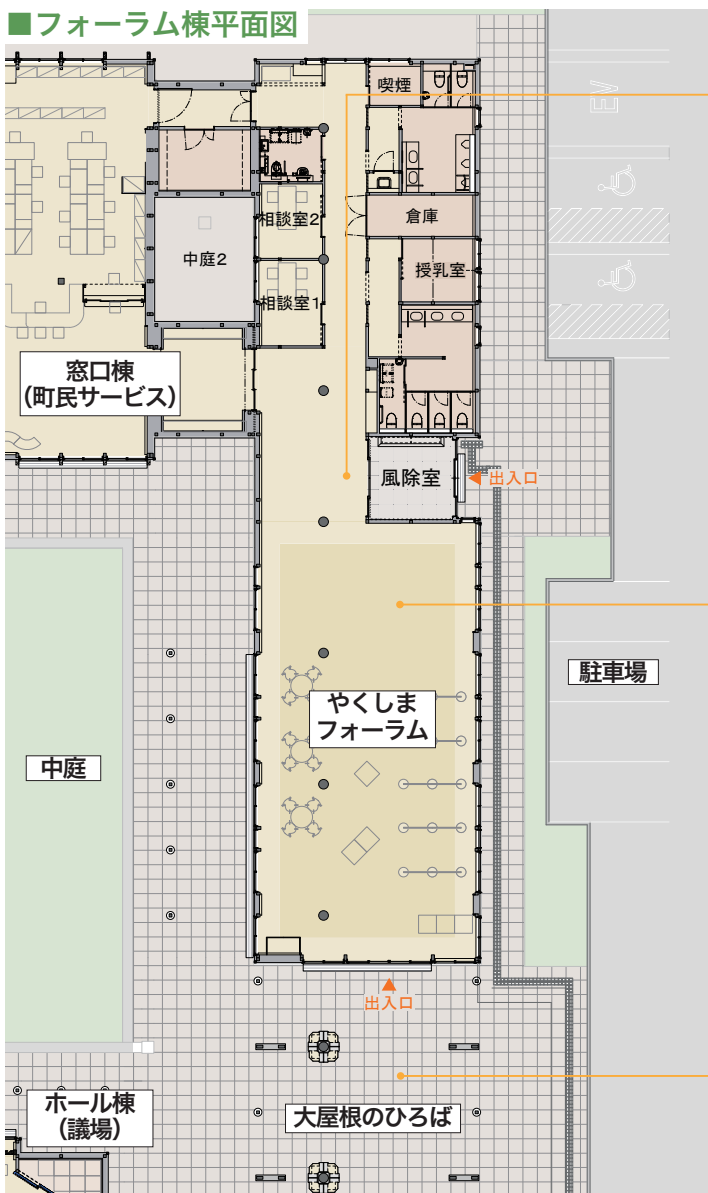
町民活動の発表や展示、島や集落文化の情報発信の場となるフォーラム



フォーラム棟

- ・屋久島町新庁舎の正面玄関となる棟です。
- ・現代の庁舎建築で必須となる、来庁者に配慮した設備（相談室、授乳室、バリアフリーのトイレ等）と、町民の皆さまの様々な活動や各集落から島全体の情報発信の場となるエントランスホール「やくしまフォーラム」を計画しています。

■フォーラム棟平面図



エントランス

- ・来庁者のどなたも快適に施設を利用頂けるためのアメニティ施設として授乳室、バリアフリーのトイレ等を設けます。またプライバシーに配慮して、独立した相談室を設けています。

やくしまフォーラム

- ・平成26年度の基本構想・基本計画策定時において、住民ワークショップ等の意見を反映し、町民活動スペースが提案されました。
- ・これを受けて、平成27年度の基本設計時のワークショップでは、町民の皆さまの文化活動（絵画・手工芸・写真等）の展示のみならず、空港に近い立地を活かし観光客に向けて、島や各集落の文化・歴史・産業・観光等の情報を紹介したり、将来的にはカフェや特産品直売等の場にしたいとのご意見も頂いています。そこで誕生した空間がやくしまフォーラムです。
- ・具体的な運営方法については、今後町民の皆さまと共に、2年後のオープンに向けて検討していく方針です。

大屋根のひろば

- ・屋根のある外部空間です。雨天の際の大きな車寄せとして使われるほか、フォーラムの様々な活動が外部に展開していくための場として計画しています。



町民活動の発表や展示、島や集落文化の情報発信の場となるやくしまフォーラムのイメージ



コミュニティカフェ



島や各集落の情報発信の場



特産品や土産物等の販売

新庁舎の設計内容報告と意見交換会を開催しました

1月28日（土）18：30～20：00、宮之浦の離島開発総合センターにおいて、新庁舎の設計内容報告と意見交換会を開催したところ、約180名の皆さまに参加いただきました。

前半は、新庁舎の設計者であるアルセッド建築研究所から、設計プロセスの紹介（町職員、議員、町民、施工者、木材生産者による計20回のワークショップ）と設計内容の紹介（設計コンセプト、平面計画、立面計画、模型、パース、動画等）が行われました。

後半は、庁舎建設アドバイザーである松下修氏（松下生活研究所代表）を司会として、会場から寄せられた質問状について、町職員と設計者が回答する意見交換会を行いました。次のような合計21件のご意見・ご質問がありました。



会場から寄せられたご意見・ご質問

- | | |
|-------------------|---------------|
| ①建物の維持管理に関すること…6件 | ④建設費に関すること…2件 |
| ②建物の間取りに関すること…4件 | ⑤設計内容への評価…2件 |
| ③情報公開に関すること…4件 | ⑥その他…3件 |

- ①：維持管理費や光熱費についてのご質問です。木造庁舎の修繕等にかかる費用は、一般的なコンクリートの庁舎と比較して高くなることはありません。また、光熱費は、現在の4庁舎に分散している状態よりもコンパクトになるため、下がる見通しです。
- ③：情報公開の不足については今後も広報便等を通じて情報提供に努めてまいります。
- ④：建設費に関しては、広報便第3号（町報やくしま1月号）をご覧ください。
※屋久島町ホームページでご覧になれます。（<http://www.town.yakushima.kagoshima.jp/info-magazine/>）